

がんのホリスティックアプローチ会 2018 Part 3

holistic
medicine

統合医療に取り組む堀田由浩ドクターに、
進化顕著、最先端の免疫療法についてお話いただきます。
後半は参加型のグループディスカッションを行います。



ごあいさつ

高橋ファミリークリニック院長
高橋 信雄

癌になる理由は患者自らにある。そこに気づいてもらい改善させることと、できあがってしまった癌自体を除去もしくは小さくすることが我々の使命だと思います。いろいろな療法を知り、否定せず、患者に対してベストチョイスすることが極めて大事です。前回6月は代替療法、今回は西洋医学の話しを聞き、ホリスティックとは何かを共に考えましょう。



Speaker

希望クリニック院長／統合医療
堀田 由浩

外科、形成外科医。がん治療に対して最先端の免疫療法のほか、心理セラピー、気功など、全身の調和を整える統合医療的アプローチを行っている。



一方、この薬が作用する目標である免疫細胞自体の数量と質の改善を促すのが免疫細胞療法です。この免疫細胞療法は大きく分けて2つに分類されます。

1つ目は、活性化自己リンパ球療法、免疫細胞BAK療法、NK細胞療法等に代表される自己のリンパ球を培養増殖し、その比率を変えたり活性化させたりして、がんに対する攻撃力を高めて体内へ戻す方法です。自己の細胞を使うので副作用がほとんどないことが利点です。

2つ目は免疫の質を向上させる樹状細胞療法です。樹状細胞は、がん細胞の残骸などを食べて分析し、がん抗原ペプチドをがんの特徴だと判定した上で、Tリンパ球にがん抗原を伝える役目を持っています。がん抗原を目印に効率よくがん細胞を見つけて攻撃できることが、この樹状細胞療法の特徴です。

今回のセミナーでは、飛躍的に進化し続ける免疫細胞療法、免疫チェックポイント阻害薬との関連など、臨床現場でないとは知れない、がん化学療法の最新状況をお伝えします。

がん治療は2014年悪性黒色腫への保険適応が認められた免疫チェックポイント阻害薬：ニボルマブ（オプジーボ®）の登場によって明らかに新時代に入りました。

現在、悪性黒色腫、非小細胞性肺がん、腎がん、頭頸部がん、胃がんにも保険適応となり、更に拡大して行く見込みです。がん化学療法に免疫細胞の機能を高める薬が登場したわけです。



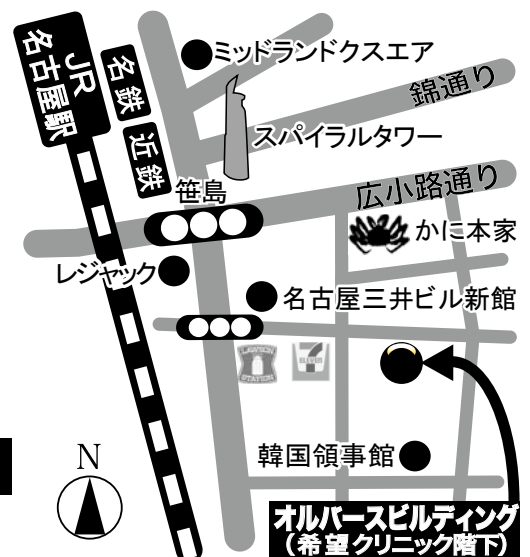
※本講座・ディスカッションは医療従事者向けです。
今回の医療従事者とはコ・メディカル、セラピスト等を含みます。

日時 2018年 **9月2日(日)** 13:30~16:00
会場 **オルバースビルディング名古屋 4Fセミナールーム**
名古屋市中村区名駅南1-19-27 (希望クリニック階下)
会費 一般2,000円 (協会員 1000円)
主催 特定非営利活動法人 日本ホリスティック医学協会中部支部
事務局(長谷部) 愛知県一宮市平和1-2-13

Web受付 ▶ holistic-chubu.org/event

申込み 問合せ TEL **0586-46-1273** FAX **0586-46-0367**
メールアドレス contact@holistic-chubu.org

メルマガ「ホリスティックの“壺”」好評配信中！(完全無料・毎週更新)
購読は中部支部ホームページより <http://holistic-chubu.org>



名古屋駅より南へ徒歩5分

生活習慣病予防指導士3単位